

J A しもつけ活動報告書

平成 30 年度事業報告・平成 31 年度事業計画

平成 30 年度は「改革への挑戦 3 か年計画」の最終年度として、①農業生産の拡大・農業者の所得増大への挑戦、②地域活性化への貢献、③経営基盤の確立の 3 つの戦略の実践につとめ、組合員・地域の皆様の理解醸成（広報活動）に取り組んでまいりました。



平成 30 年度 事業の経過

<農業生産の拡大・農業者の所得増大への挑戦>

- 3 月 13 日、10 月 2 日 野菜栽培講習会
- 3 月 14 日 ライスセンター修繕費価格交渉
- 3 月 19 日 地区別座談会において新たな米政策について説明（～27 日・各地区）
- 8 月 29 日 平成 30 年産米受検対策会議
- 8 月 31 日 突風被害に対する職員の人的支援実施
- 9 月 26 日 平成 30 年産米価格交渉
- 10 月 23 日 麦類栽培講習会



突風被害に対する職員の人的支援

<地域活性化への貢献>

- 4 月 1 日 デイサービスセンターひだまり地域交流会（偶数月に実施）
- 7 月 31 日 栃木市農商工包括連携協定
- 9 月 30 日 栃木刑務所矯正展イベント参加
- 10 月 13 日 J A しもつけ第 5 回ウオーキング大会
- 11 月 30 日 栃木農業高校との包括連携協定式
- 11 月～12 月 第 20 回ふれあいまつり（各地区）
- 2 月 13 日 ありがとう企画 2018 in 伊豆（～14 日）



栃木市農商工包括連携協定書締結式

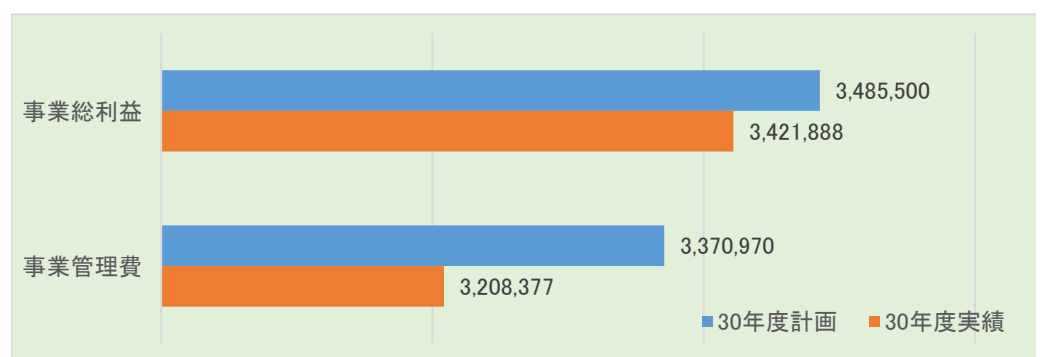
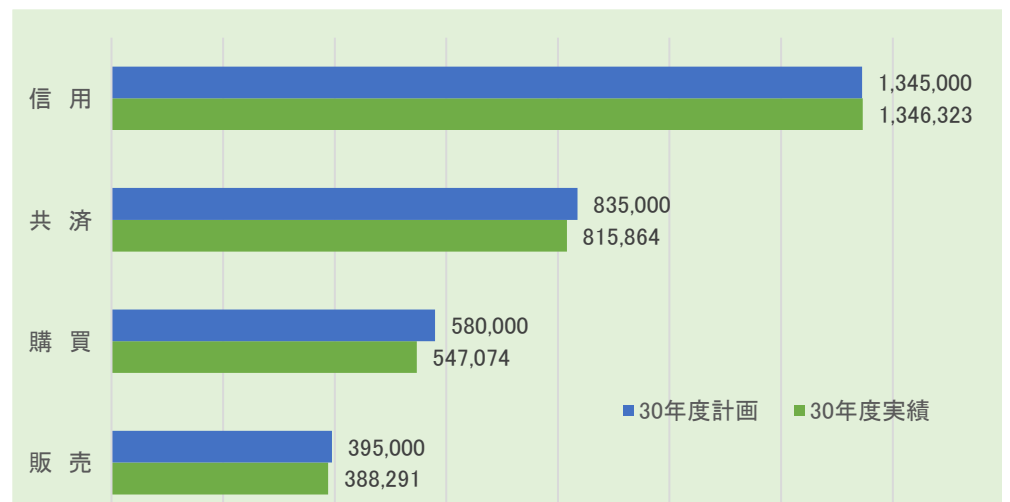
<経営基盤の確立>

役職員に対する各種コンプライアンス研修会の実施、県常例検査の受検による業務の適正化等に取り組むと共に、組合員の生の声を組合運営に反映すべく、常勤役員を中心に約 600 戸の担い手農家訪問を行いました。

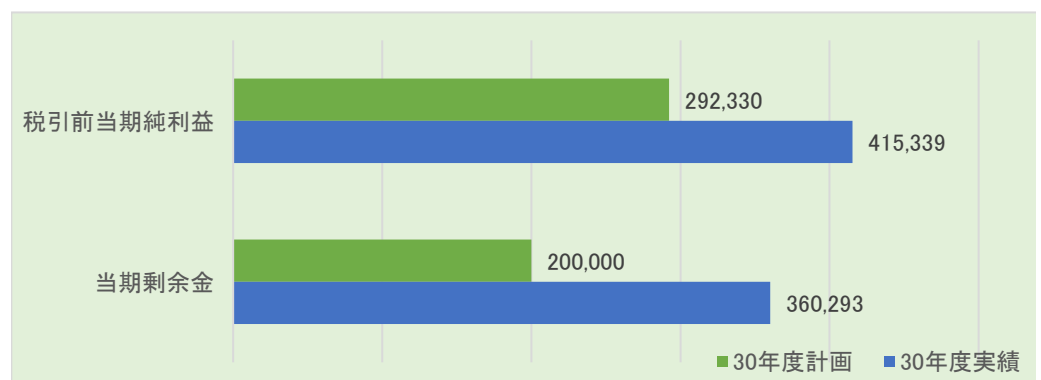
平成 30 年度 各事業の実績

<主要 4 事業の損益>

単位：千円



事業総利益では計画を達成出来ませんでしたが、事業管理費の圧縮等により税引前当期純利益・当期剰余金では計画を大きく上回る実績を上げることが出来ました。



平成 31 年度事業計画

平成 31 年度は農林中央金庫からの預金奨励金減少等農協を取り巻く環境はますます厳しさを増していく事が予想されます。

各部門収益力の向上・費用の圧縮に努め、下記の計画達成に向けて業務を進めてまいりますので、皆さまのご協力をお願い致します。

項 目	平成 31 年度計画	（参考）平成 30 年度実績
信用事業総利益	1,220,000 千円	1,346,323 千円
共済事業総利益	805,000 千円	815,864 千円
購買事業総利益	560,000 千円	547,074 千円
販売事業総利益	397,500 千円	388,291 千円
その他事業総利益	330,000 千円	324,336 千円
事業総利益	3,312,500 千円	3,421,888 千円
事業管理費	3,212,500 千円	3,208,377 千円
当期剰余金	200,000 千円	360,293 千円

～JAしもつけ自己改革の取り組み～



販売事業の取組実績

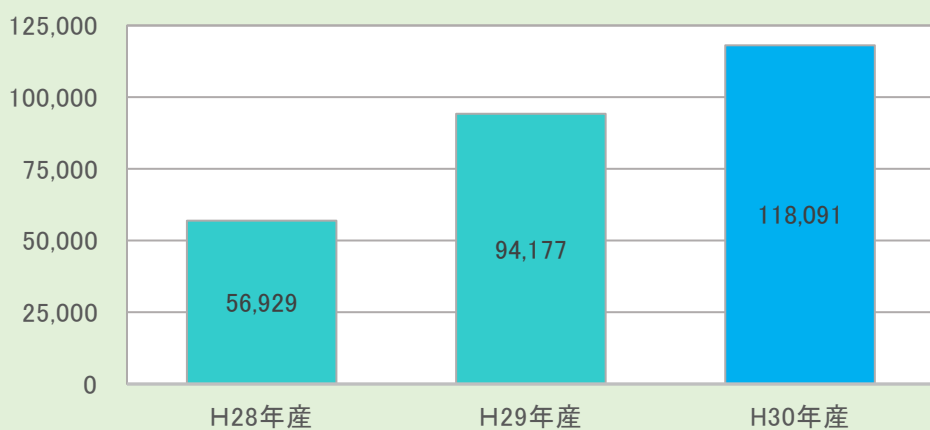
米の買取販売の拡大

米をはじめとする農産物の販売チャネル多角化や野菜の業務用・加工用需要の増大等の流通・販売環境の変化に対応し、マーケットインに基づく生産を進め、農畜産物の有利販売を通じて農業者の所得増大に取り組んでいます。

例として米の買取販売を平成 28 年産から「あさひの夢」、平成 29 年産からは「とちぎの星」でも実施し、系統外への米の直接販売を拡大しています。

また、平成 30 年産におきましては、前年度よりさらに集荷数量を拡大し 118,091 俵の集荷数となりました。

買取米集荷数の推移(俵)

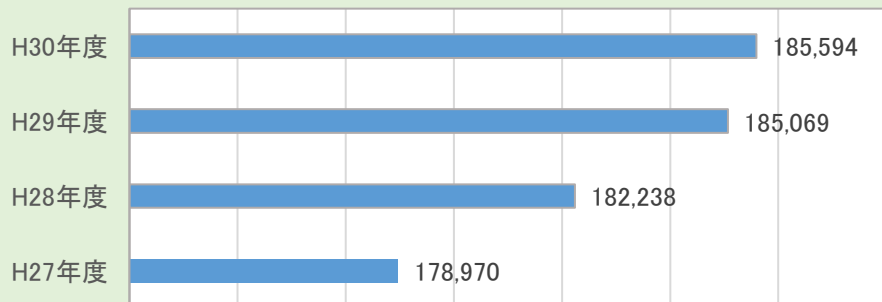


今後の米生産は計画的生産により過剰生産を防ぐ事が最重要となります。

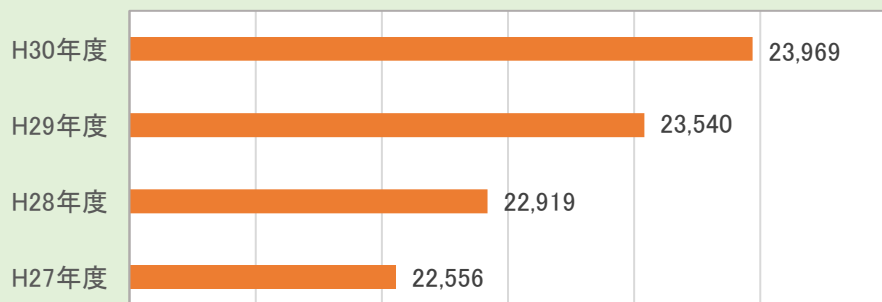
この為、主食用米と加工用米や飼料用米・米粉用米等を組み合わせた「米×コメ複合」つまり 1 俵いくらかではなく、10 アールでいくらか儲かるかを提案してまいります。

信用事業の取組実績

個人貯金残高の推移(百万円)



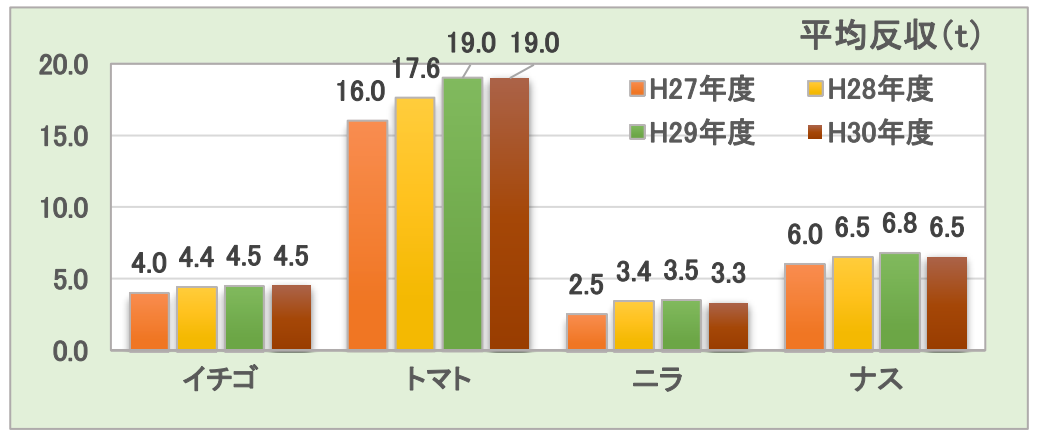
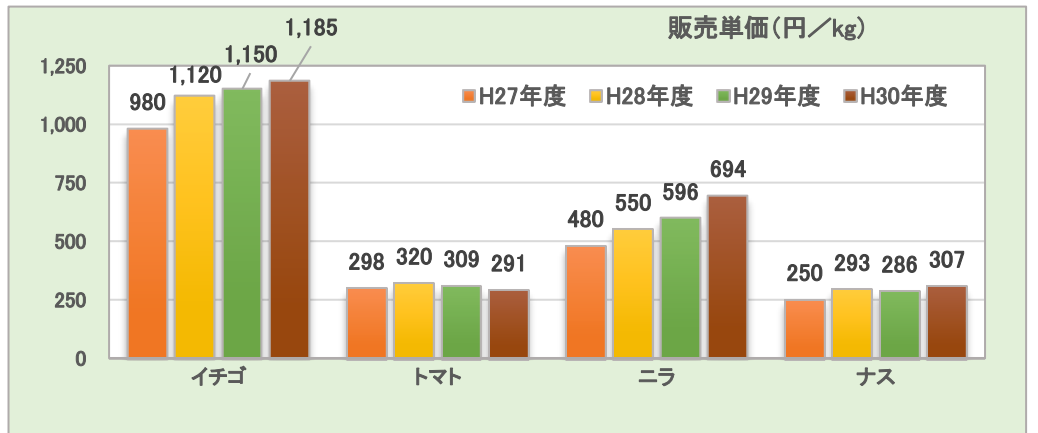
貸出金の推移(百万円)



JAしもつけではお預かりした貯金を、農業の発展や地域産業を支える方々へ融資という形で循環させ、お住いの地域活性化へ貢献しております。

また、「メインバンク」として、給与振込・年金受取・各種ローン商品など、皆さまにとって「より利用しやすい金融機関」を目指しています。

主要 4 品目 (イチゴ・トマト・ニラ・ナス) の販売単価と平均反収の引上げ



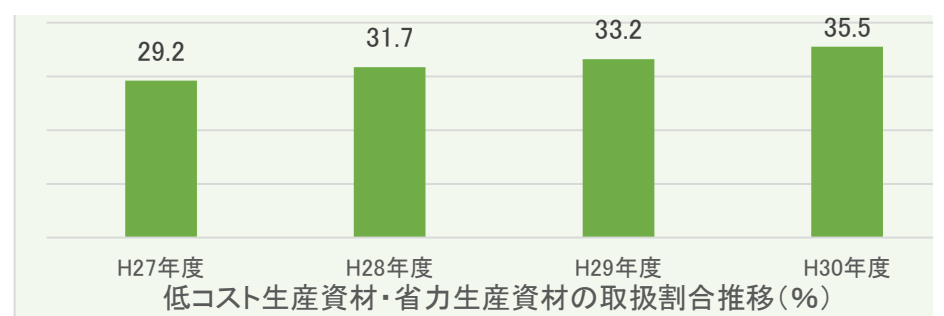
販売方式多角化による有利販売や各市場に合わせた分荷等による販売単価の増加、品種別栽培講習会、現地検討会や土壌診断、施肥設計の実施による生産量の増加に取り組んでいます。

購買事業の取組実績

コストの低減、低コスト生産技術の確立・普及

生産コスト低減に向け、価格調査や仕入れ価格の交渉、各種値引き対策により供給価格の引き下げを行いました。

また、低コスト生産資材・省力生産資材の取り扱いについても拡大に取り組みしました。



共済事業の取組実績

自動車事故処理お客様満足度

全国第 4 位！

平成 30 年度、自動車共済利用者満足度において、総合満足度は 98.3%（前年比+0.2%）と、JA 規模別ランキングで全国第 4 位の実績となりました。

今後も、お客様満足度 100%を目指し、組合員・利用者の信頼と期待に応えられるようつとめてまいります。